

令和8年7月24日
国土交通省関東地方整備局
河川部

令和7年の河川水質を公表します！

～令和7年は76%で環境基準を満足～

関東地方整備局では河川水質管理の一環として、関東地方の一級河川の水質調査を実施しています。令和7年1月から12月までの水質調査結果について、「令和7年 関東地方一級河川の水質現況2025」として公表します。

・生活環境の保全に関する環境基準の満足状況（資料P2）

生活環境の保全に関する環境基準を満足した地点は76%（127地点/168地点）で、平成20年からは概ね横ばいです。

（※）生活環境の保全に関する環境基準とは、有機汚濁の代表的な指標であるBOD値又はCOD値を地点ごとに設定した基準のこと

・水質の改善状況（資料P6）

10年前（平成27年）と令和7年で水質改善状況を比較すると、最も改善したのは、八筋川（やすじがわ）（利根川水系横利根川）で、次いで是政橋（これまさばし）（多摩川水系多摩川）、関戸橋（せきどばし）（多摩川水系多摩川）となりました。

・住民参加による水質調査の実施状況（資料P9～）

住民参加による水質調査として延べ419人に参加いただき、調査を実施しました。

・その他、ダイオキシン類に関する実態調査や水質事故の状況についても掲載しています。

<発表記者クラブ> 茨城県政記者クラブ 土浦記者クラブ 鹿島記者クラブ 栃木県政記者クラブ
刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ 千葉県政記者会 埼玉県政記者クラブ 川越新聞記者会
都庁記者クラブ 竹芝記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 神奈川建設記者会 山梨県政記者クラブ
静岡県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部

電話：048-600-1336（直通） メールアドレス：ktr-kasenkankyou@mlit.go.jp

河川環境課長 土谷（つちや） （内線：3651）

河川環境課 課長補佐 作田（さくた） （内線：3656）

令和 7 年 関東地方一級河川の水質現況 2 0 2 5 (概要)

1. 水質調査

(1) 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

- ・ 有機汚濁の代表的な指標である B O D 値又は C O D 値が環境基準を満足した調査地点は、1 6 8 地点中 1 2 7 地点で全体の 7 6 %
- ・ 令和 6 年と比較すると、環境基準を満足した地点数は 7 ポイント低い割合であり、平成 2 0 年からは概ね横ばい
- ・ 久慈川水系、那珂川水系、鶴見川水系及び相模川水系の 4 水系で全地点が環境基準を満足

(2) 水質の改善状況

- ・ 過去 1 0 年間の B O D 値の改善幅でみると、八筋川（利根川水系横利根川）で 1. 1 mg/L（関東 1 位、全国 5 位の改善幅）、是政橋（多摩川水系多摩川）で 0. 7 mg/L（関東 2 位の改善幅）

2. 住民参加による水質調査の実施状況

- ・ 小中高生や一般市民、延べ 4 1 9 人の参加を得て調査を実施
- ・ 『人と河川の豊かなふれあいの確保』の視点においては、「A ランク（顔を川の水につけやすい）」「B ランク（川の中に入って遊びやすい）」の地点が 6 0 地点中 3 8 地点で全体の約 6 3 %
- ・ 『豊かな生態系の確保』の視点においては、「A ランク（生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好）」「B ランク（生物の生息・生育・繁殖環境として良好）」の地点が 3 6 地点中 2 8 地点で全体の約 7 8 %
- ・ 『利用しやすい水質の確保』の視点においては「A ランク（より利用しやすい）」「B ランク（利用しやすい）」の地点が 2 0 地点中 1 3 地点で全体の 6 5 %
- ・ 水生生物による水質の簡易調査では、判定内容が「Ⅰ（きれいな水）」または「Ⅱ（ややきれいな水）」であった地点が 2 5 地点中 2 5 地点で全体の 1 0 0 %

3. ダイオキシン類に関する実態調査

- ・ 水質 3 1 地点、底質 2 2 地点でダイオキシン類の調査を実施し、水質の 4 地点で環境基準を超過したが、底質はすべての地点で環境基準を満足

4. 水質事故の状況

- ・ 関東地方整備局管内での水質事故の通報件数は、1 5 7 件で令和 6 年よりも 1 5 件増加
- ・ 原因物質別では、重油・軽油等の油の流出による事故が件数全体の 6 9 %

令和 7 年 関東地方一級河川の水質現況 2 0 2 5 はこちら
(過去の河川水質についても掲載しています)

https://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river_shihon00000148.html

